

☆ 子 ども 会 (学 習 会) だ よ り ☆

MY SKY 第22号 ☆ ☆

マイ スカイ

1996年11月12日火曜日発行(毎週火曜日定期発行)

発 行 者

板野中学校

学 習 会

編集・文責: 誠正社

最近、わが徳島が誇る郷土の地方紙「徳島新聞」の一面トップに、毎日のように出ている記事があります。ご存じでしょうか？

先日惜しまれつつ亡くなった、寅さんのシリーズ作「男はつらいよ」の後継作といわれている、西田敏行主演の「虹をつかむ男」のロケ記事がそれです。まるで脇町は映画村のような賑わいのようですね。こんな日本を代表するような映画作品が、徳島の一地方で作られているなんて、県民として、なんだか信じがたいことです。

さて、これらの映画作品をずっと手がけてきているのが、これまたご存じ山田洋次監督です。山田監督の作品をいくつかご覧になったみなさんならわかると思いますが、人間味あふれるそのスクリーンには、私たちの心をどうしてもとらえて放さない、何かがあるように感じます。それは、今上映されている映画「学校Ⅱ」にもいえることのようにです。実は私はまだ観に行けては不是のすが(前売り券は買っている)、もう既に観に行った先生方も多く、そのみなさんが口々にこう言います。

「……………いいわあ……………」

どうも声にならないくらい、いいようです。私も、暇をつくってぜひとも……。

でも私、前作は観てるんです。そう、あの映画「学校」です。それも3年前に板野中学校の体育館で。全校鑑賞で観たんですね。それはそれは忘れられない映画で、今でもたくさんのシーンが思い出されます。夜間中学校がその舞台だったわけですが、その中でも田中邦衛が演じるイノさんについては、格別でした。

実は「学校」を全校鑑賞した後、この映画について、現3年E組担任の森口先生が授業をしたのです。そのときにある男の子が、こんな発言をしてくれたそうです。

昨日の映画を観て、ものすごく感動したんです。最初の方に、字を書けない人が一生懸命に字を覚えていたところがあったけど、あの場面をみていたら、なんかすごくかわいそうになった。あの人の姿と僕の父ちゃんがダブってくるんです。僕の父さんも、あんな感じやったんかなあと思えてたまりませんでした。

小学校のときに宿題を教えてもらおうとしたことがよくあったけど、あのときの父さんは苦しかっただろうなあとと思うんです。今でもはっきりと覚えているのが、算数の問題を教えてもらって、その次の日、学校にその宿題を持って行って答え合わせしたんです。そしたら全部間違えとった……。それで小学校のときな、父さんアホやなあとか思っていたんです。

でも、昨日あんな映画を観てお父さんのこと思うたら涙が出そうになった。わからんのに一生懸命僕のことを思って教えてくれた気持ちがものすごくわかるんです。僕はほんまに一生懸命勉強して、父さんを幸せにできる人間になりたいと思います。

映画を通して、自分の家族が見えてきたんでしょうね。人間、感動はしても、それ自分のの中に引き込み、見つめるという作業はなかなかできないものです。でも、あの映画にはその魅力^{みりょく}があったんでしょうね。

他にも、さまざまな役^{やく}を通して、いろんな生きざまが見えてきました。登校拒否になってしまった女の子。俗^{ぞく}にいう「不良」と呼ばれる男の子。中国からの帰国子女。そして、在日韓国朝鮮人のオモニ^{ざいにちかんこくちようせんじん}(韓国語でいうおばあちゃん)。このオモニ役をしていたのが、今月24日に板中へ来てひとり芝居「ヒミコ伝説」をしていただく、新屋英子^{しんやえいこ}さんなのです。

実はこのことについては、「MY SKY第8号」で少しふれていたのですが、本番が近づいてきたということで、再度取り上げたわけです。

私たちは、新屋英子さんが演じる村田ヒミコを通して、人間のあるべき姿や、幸福に満ち溢^{あふ}れたあたたかい社会を創造していきたいと思います。

とりあえず、芝居のあらすじと新屋さんのプロフィールを再度載せておきますので、読んでみてください。

あらすじ

女手^{おんなで}ひとつで息子^{むすこ}を育て、今は公園の掃除婦^{そうじふ}をしているヒミコ。公園のベンチで、時代^いを行きつ戻り^{もと}つしながら彼女^{みづか}が自^{みづか}らの半生^{はんせい}を語る。

大^{だい}の仲良^{なかよ}しだったトシエちゃんは被差別部落^{ひさつべつ}の子。小学校の先生に突き飛ばされたきり学校へ来なくなった。70年近くも前のことだが、今でもトシエちゃんの顔を思い出す。

ヒミコの家も生活は苦しかった。父親^{ふくまつ}の福松^{つと}は、勤めていた金物問屋^{かなものどんや}で盗^{ぬす}みのヌレギヌをきせられて、クビになり寝ついてしまう。ヒミコは、母親^{はは}イネと屋台^{やたい}をひいてワラビ餅^{もち}を売り歩く。

“めし屋”で働いていた13歳の頃、関東大震災があり大勢の朝鮮人が虐殺される。その話を聞いた福松は「ムゴイ……」と、泣き続ける。

少女歌劇団の合格通知電報を福松に見せると、「肌身はなさず持っている」とお守りをヒミコの手握らせる。その2日目に福松は血を吐いて死んでしまう。

座付き作者との結婚、証券会社員と2度目の結婚。最初の亭主には逃げられ、2度目の亭主は追い出してしまう。イネと息子アキラ、そしてヒミコの3人が生きるため、カフェの女給や飲み屋の仲居をはじめ、ありとあらゆる商売で口を糊する。その間に、2・26事件、盧溝橋事件、大東亜戦争、原爆投下など様々な歴史をおりこみ、ヒミコの生きた時代を浮かび上がらせる。

そして時はいま、ヒミコはインテリの嫁とうまくいかな。あるとき、福松が死に際にくれたお守りを嫁がみつけた！そこには、ドジョウがのたうちまわったような字が？！…………。

女目から見たら、まだまだ男性優位の日本社会。夫のエゴや社会の変動にもて遊ばれて小舟のようにゆれるヒミコ。学もなく字も読めないヒミコに世間の荒波は容赦なく押しよせる。素手で立ちむかうヒミコ。しかし、そこには悲愴感はない。涙と笑いをさそいながら人間の尊厳とは何かを鋭く問いかける。

新屋英子プロフィール

大阪天満に生まれ、1952年制作座入団。1957年、劇団関西芸術座創立メンバー。

特集テレビ朝日「徹子の部屋」に出演。大阪シナリオ学校・大阪文学学校講師。

〈主な映画出演〉

「旅の重さ」斉藤耕一監督、「アース」金秀吉監督、「学校」山田洋次監督

「手をつなぐ子ら」羽仁進監督、「愛の亡霊」大島渚監督 他

〈主なテレビ出演〉

NHKドラマスペシャル「李君の明日」「山頭火」「雪」、MBSドキュメント「朝鮮人従軍慰安婦」

YTVドキュメント「沖縄・竜子の旗」「大気汚染」「報道被害」 他多数

〈ひとり芝居〉

「身世打鈴」「チョゴリを着た被爆者」「鞍馬天女」「わたしの蓮如さん」 他多数

〈著書〉「身世打鈴」演じつづけて

このお芝居、新屋英子さんが一人なのですが、一人でできあがったものではありません。実はこの脚本、夫である脚本家、鶴野昭彦さんが書いているのです。今回は別の仕

事で本校には来られませんが、本当に夫婦協力して人生というシナリオを書いているという感じがします。

みなさん、私は主人公^{しゅじんこう}ヒミコのいきいきした^{すがた}姿や、どんな境^{きょうぐう}遇^{くつ}にも屈せず、したたかに生き抜くたくましさ、いわれなき横暴^{おうぼう}な圧^{あつりよく}力^{かんぜん}に敢然と立ち向かう力強さ、そして、自然に人をいたわることのできる優^{やさ}しさを、ぜひとも観ていただきたいと思います。

生徒のみなさんはもとより、保護者の方々にも広く参加していただくとともに、お知り合いの方々もたくさん誘^{さそ}い合わせていただければ幸^{さいわ}いと思います。

そして当日、多くの方々と人権問題について、部落問題について語り合いたいと思います。よろしくお願いします！！

当日の詳しい日程と劇の参考になる資料を、次に紹介しておきます。

と き 11月24日(日)8:50~11:50

ところ 板野中学校体育館

参加者 板野中学校生徒・教師・保護者、その他希望者

日 程 8:30~8:50 受付 10:20~10:30 休憩

8:50~9:00 開会式 10:30~11:40 参会者全員による人権討論会

9:00~10:20 ひとり芝居「ヒミコ伝説」 11:40~11:50 閉会式

劇に関係する歴史的ことから

- 1910 ハレー^{すいせい}彗星地球大接近：地球滅亡の噂が流れ、人々を恐怖のどん底に陥れました。
- 大逆事件^{たいぎやく}：天皇暗殺を計画したとして多くの社会主義者がとらえられ、なかでも幸徳秋水は死刑にされた事件。
- 村田ヒミコ誕生：主人公村田ヒミコが生まれた年です。
- 1914 第一次世界大戦起こる：参戦した日本は、朝鮮半島、中国、モンゴル、太平洋南洋諸島を侵略しました。
- 1918 米騒動始まる^{こめそうどう}：大戦のため、日本国民が主食とする米の値が急に高くなり、全国各地で米商店・精米所・高利貸しが襲われました。
- 1922 全国水平社が京都で創立：自らの団結と行動で、部落差別からの解放を求めて、西光万吉らが設立した。
- 1923 関東大震災起こる：死者・行方不明者10万人以上。混乱の中でデマが広がり、6000人以上の朝鮮人が虐殺された。
- 1929 世界恐慌始まる^{せかいきょうこう}：大戦後、不景気に見舞われたアメリカのあおりは世界的に広がり、日本でも国民の貧しさはどん底状態だった。
- 1931 満州事変による日本軍侵^{まんしゅうじへん}略^{しんりやく}：不景気による国民の不満をさけるため、満州を侵略した事件。
- 1936 二・二六事件起こる：軍国主義が広がってきたとき、陸軍の青年将校らが大臣を殺傷し、東京の中心部を占拠した事件。
- 1937 日中戦争始まる：日本軍に対抗した中国を占領した事件。南京における中国の犠牲者は、20万~30万人といわれる。
- 1941 アジア・太平洋戦争始まる：日本、ドイツ、イタリアが軍事同盟を結び起こした、第二次世界大戦。
- 1942 全国水平社消滅^{しょうめつ}：大戦により、水平社運動は消滅。

1945 日本^{むじようけんこうよく}の無条件降伏：日本各地で大空襲が繰返され、広島・長崎では原爆が投下。終戦となる。

水平社宣言

全国に散在する吾^{さんざい}が特殊部落民^{わ とくしゆ ぶらくみん}よ。団結^{だんけつ}せよ。

長い間^{いじ}虐められて来た兄弟^きよ、過去半世紀^{か こはんせい き かん}間に種々なる方法と多くの人々^{しめじゆ}とよつてなされた吾等^{われら}の爲^ための運動^{なんら}が、何等^{なんら}の有難い効果^{ありがた}を齎^{もた}らさなかつた事實^{それら}は、夫等^{それら}のすべてが吾々^{われわれ}によつて、又他の人々^{また}によつて毎^{つね}に 人間を冒^{ぼう}瀆^{とく}されていた罰^{ばち}であつたのだ。そしてこれ等^らの人間を勸^{いた}めるかの如^{ごと}き運動^{どうどう}は、かえつて多くの兄弟^{たらく}を墮落^{だらく}させた事を想^{おも}へば、此際^{このさい}吾等^{われら}の中より人間を尊敬^{うち}する事によつて自ら解放^{みずか}せんとする者の集団運動^{おこ}を起^{おこ}せるは、寧ろ必然^{むし ひつぜん}である。

兄弟^{われわれ}よ、吾々の祖先^{そ ぜん}は自由^{かっこうしや}、平等^{ろうれつ}の渴仰^{かいきやう}者であり、実行^{じやうぎ}者であつた。陋劣^{ろうれつ}なる階級^{かいきやう}政策^{せいさく}の犠牲^{ぎ せいしや}者であり男らしき産業^{じゆんぎやうしや}的殉^{じゆんぎやうしや}教者^{きやうしや}であつたのだ。ケモノの皮剥^はぐ報酬^{ほうしやう}として、生々^{なまなま}しき人間の皮を剥^はぎ取られ、ケモノの心臓^{しんぞう}を裂^きく代価^{だいけ}として、暖^{あた}かい人間の心臓^{しんぞう}を引裂^さかれ、そこへ下^{くだ}らない嘲^{ちやうしやう}笑^{つば}の唾^はまで吐^はきかけられた呪^{のろ}いはれの夜^よの悪^{あく}夢^むのうちにも、なほ誇^{ほこ}り得^うる人間の血^かは、涸^かれずにあつた。そうだ、そして吾々^{われわれ}は、この血^ちを享^うけて人間が神^{かみ}にかわろうとする時代^{じだい}にあうたのだ。

犠牲^{ぎ せいしや}者^らがその烙印^{らくいん}を投げ返^{かへ}す時^{とき}が来たのだ。殉^{じゆんぎやうしや}教^{きやう}者^{しや}が、その荊冠^{けいかん}を祝^{しゆく}福^{ふく}される時^{とき}が来たのだ。

吾々^{われわれ}がエタである^{ほこ}ことを誇^うり得^うる時^{とき}が来たのだ。

吾々^{われわれ}は、かならず卑屈^{ひくつ}なる言葉^{きやうだ}と怯懦^{こうい}なる行^{ぎやう}爲^ゐによつて、祖先^{そ ぜん}を辱^はしめ、人間^{じんぎやう}を冒^{ぼう}瀆^{とく}してはならぬ。そして人の世^{ひと}の冷たさが、何^{なん}んなに冷たいか、人間^{じんぎやう}を勸^{いた}める事^{こと}が何^{なん}のであるかをよく知^しっている吾々^{われわれ}は、心^{こころ}から人生^{じんせい}の熱^{ねつ}と光^{ひかり}を願^{がん}求^く礼^{らい}讃^{さん}するものである。

水平社^{すいへいしや}は、かくして生^きれた。

人の世^{ひと}に熱^{ねつ}あれ、人間^{じんぎやう}に光^{ひかり}あれ。

大正十一年三月三日

全国水平社創立大会



◇ これからの日程 ◇ ◇ ◇

今回は人権集会特集号のようになってしまいましたが、それまでにもたくさんの行事があります。2E、3Dによる全体学習もそうですね。日頃感じたり思っていることを氣兼^{き かん}

ねなく語り合えるということが、基本だと思います。その実践を、全体学習を通じて積み上げてみてください。

またお隣の板野養護学校では、17日に文化祭があります。舞台は午前中だけで、バザーは終日あるようです。近いので、みなさんも気軽に参加してください。きっと自分のためになるはずですよ。

★ ★ ★ ★ ★

11月14日(木) 2年第4回全体学習 2年E組：資料「全体学習について」

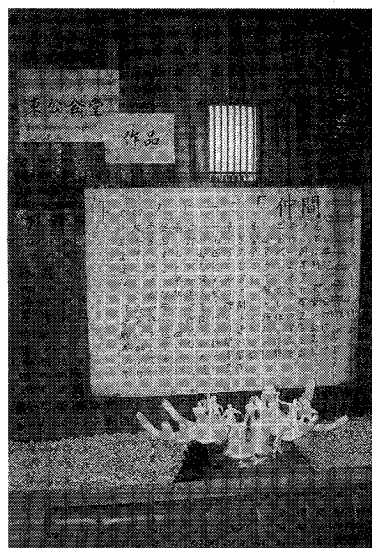
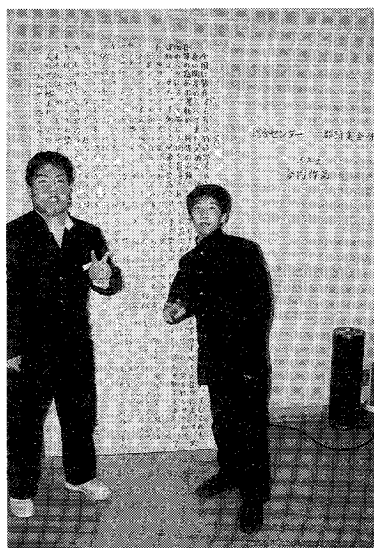
17日(日) 板野養護学校文化祭(板野養護学校)

19日(火) 『MY SKY 第23号』発行日

21日(木) 3年第5回全体学習 3年D組

24日(日) 板野中学校保護者参観人権集会(8:50～：板中体育館)

26日(火) 『MY SKY 第24号』発行日



板野町解放文化展